



放射線を見る実験に取り組む児童

素粒子の世界身近に

出前講座 三ヶ尻小児童が実験

金ヶ崎

金ヶ崎町三ヶ尻十三本塚

の三ヶ尻小(川戸司朗校長、児童111人)で13日、東北への誘致を目指す国際リニアコライダー(ILC)



東北誘致

の出前講座(町主催)が開かれ、5年生19人が、ILC計画に携わる東北大学大学院理学研究科の佐貫智行准教授の指導を受けた。

児童は、ドライアイスなどを使って放射線の通り道を見る科学実験に挑戦。ILCも目に見えない素粒子を調べ、宇宙の謎を解明する計画であることを学んだ。菅原翔子さんは「人の体や宇宙が小さい粒(素粒子)からできていると知り驚いた」と認識を新たにしました。

佐貫准教授は「世界一の研究所が皆さんの地元でできるかもしれない。英語や理科などをたくさん勉強してほしい」と呼び掛けた。

町主催の出前講座は初めて。本年度は町内5小学校のうち金ヶ崎小と永岡小でも開く。